

## 震災記念公園専門部会における検討内容

### 1. 専門部会の目標

- 今年度中に、「震災記念公園整備基本構想」を整理する。  
(基本的な考え方、公園概要(位置付け、機能・施設、規模、ネットワーク、整備候補地等)、今後の整備の進め方(推進体制、管理・運営体制等)を含むもの)

### 2. 目標達成に向けた検討の流れ(今後の予定も含む)

- 「基本的な考え方」について専門部会メンバーで議論(8月～9月)
  - 公園のネットワーク性、中心拠点公園/各校区拠点公園の性格等について、専門部会案を整理→各校区の方のご意見を伺うために座談会開催を決定
- 「震災記念公園(仮称)に活用したい地域の資源」や「震災記念公園(仮称)のイメージ」について、各校区の方との座談会を実施(9月～12月(予定))
  - 津森校区、飯野校区、福田校区については、一回目の座談会を開催済み
  - 木山校区、広安校区については、11月～12月に開催予定。

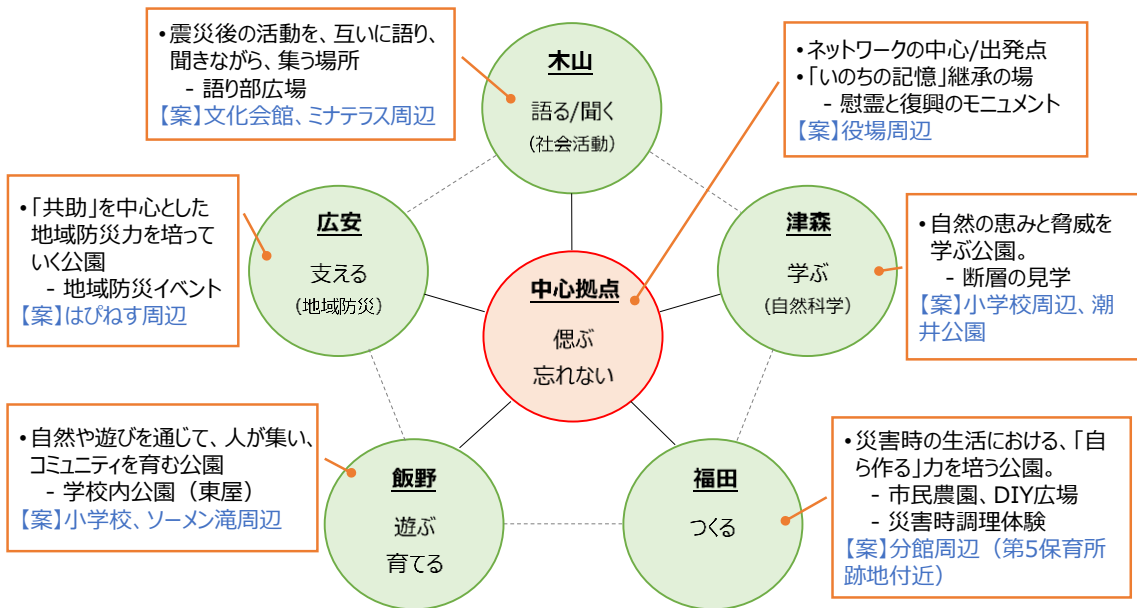


- 「震災記念公園整備基本構想骨子」の整理(12月)(予定)
- 「震災記念公園整備基本構想骨子」に関する座談会(第2回目の座談会)の開催(1月～2月)(予定)
- 「震災記念公園整備基本構想案」の整理(2月)(予定)

### 3. これまでの専門部会での検討内容

- 「記憶の継承」の取組における震災記念公園(仮称)の目的の整理
  - ①「いのちの記憶」の継承、②防災教育を行う「場」、③まちの公園、④震災遺構の最大活用
- 震災記念公園全体の位置付け・役割の整理
  - 「日常の暮らしを支える公園+震災の記憶」という位置付けを基本とする。
  - 「一つの大きな公園」ではなく「ネットワーク型の公園」として考える。

- 各校区の資源/施設を最大限活用しながら整備する。
- 各校区拠点公園では「校区らしい」活動を展開する。
- 各校区の皆さんにとっての「自分たちの」公園になるように運営・活用も考える。



- 津森校区、飯野校区、福田校区の公園概要の整理(座談会を通じて)
  - 資料6-2

#### 4. 今後の取組における課題

- 現在は、第1回目の座談会で皆さんからご意見をいただきながら、「事務局としてのイメージ」を作成している段階。今後、第2回目の座談会を開催しながら、住民の皆さんとの合意形成を図っていく必要があるが、その進め方について、専門部会としての考え方を確立しておく必要があると考えている。
- 特に、座談会の開催単位や人数については検討が必要。第1回目の座談会は、校区会長+2~3名の区長、及びまちづくり協議会から2~3名と狭い範囲で開催しているが、これをどこまで広げていくか、という点が課題。  
一方で、人数が多いと意見を出せない人が出てくることも懸念されるため、“皆さんのご意見”をどのように収集していくかについては、工夫が必要と考えている。
- また、震災記念公園の整備・運営・活用を実際に進める際の課題についても、抽出し、解決策を用意する必要があると考えている。それに向けて、震災記念公園の整備、運営、活用に関係する／できる方のご意見をお伺いしたいと考えているが、どのような方のご意見をお伺いしていくべきかは、現在検討している段階である。